令和３年度

熊本大学
S-HIGO プロフェッショナルプログラム

シラバス

問い合わせ先：熊本大学　医薬保健学系事務課
医学事務チーム　HIGO プログラム担当
（S-HIGO フェローシップ事務局）
〒860-8556　熊本市中央区本荘１丁目１番１号
TEL: 096-373-5006　FAX: 096-373-5031
E-mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp

授業時間

	大江キャンパス	本荘キャンパス	黒髪キャンパス
1時限	8:40 - 10:10	8:45 - 10:15	8:40-10:10
2時限	10:20 - 11:50	10:30 - 12:00	10:25-11:55
3時限	12:50 - 14:20	13:15 - 14:45	12:55-14:25
4時限	14:30 - 16:00	15:00 - 16:30	14:40-16:10
5時限	16:10 - 17:40	16:45 - 18:15	16:25-17:55
6時限	18:00 - 19:30	18:30 - 20:00	18:10-19:40

S-HIGO プロフェッショナルプログラム　シラバス　目次

１．S-HIGO プロフェッショナルプログラムの授業科目、単位数及び履修方法
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
履修届様式
医学教育部
博士課程一般コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
博士課程 HIGO 専門コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
薬学教育部
博士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
博士後期課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
博士後期課程 HIGO 専門コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

２．研究力向上パッケージ科目
S-HIGO 特別実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
S-HIGO 最先端研究セミナーA・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
S-HIGO 最先端研究セミナーB・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
大学院教養教育プログラム科目 研究の最前線の知の統合・・・・・・・・・・・・・17

３．キャリアパス支援パッケージ科目
S-HIGO プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
S-HIGO インターンシップⅠ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
S-HIGO インターンシップⅡ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
S-HIGO リーダーシップトレーニング講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
S-HIGO 行政・企業セミナーA・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
S-HIGO 行政・企業セミナーB・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

1.S-HIGO プロフェッショナル

プログラムの授業科目

単位数及び履修方法

S-HIGOプロフェッショナルプログラムの授業科目、単位数及び履修方法

研究力向上パッケージ科目

授業科目	単位数		履修方法	備考
	必修	選択		
S-HIGO特別実習	1		4単位以上	共通開講
大学院教養教育プログラム科目 「研究の最前線と知の統合」		1		
S-HIGO最先端研究セミナーA		1		
S-HIGO最先端研究セミナーB		2		

キャリアパス支援パッケージ科目

授業科目	単位数		履修方法	備考
	必修	選択		
S-HIGOインターンシップⅠ	1		5単位以上	共通開講
S-HIGOプロジェクト	2			
S-HIGOリーダーシップトレーニング講座		1		
S-HIGO行政・企業セミナーA		1		
S-HIGO行政・企業セミナーB		2		
S-HIGOインターンシップⅡ		1		

大学院医学教育部（博士課程）
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目　履修届
（一般コース）

令和　　年　　月　　日

熊本大学大学院医学教育部長　殿

令和＿＿年度入学　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（必須）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	
コース名	一般コース		

履修希望及び読替希望について、希望する科目の欄に○を記入すること。

区分	授業科目名	単位数	必修･選択の別		担当教員	履修希望	読替希望
			必修	選択			
研究力向上パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 4単位以上	S-HIGO 特別実習	1	○		首藤 剛	○	
	大学院教養教育プログラム科目「研究の最前線と知の統合」	1		○	梅田 香穂子、Tobias Bauer、田代 浩徳、三隅 将吾、西中村 隆一、尼崎 大樹、倉田 賀世		
	S-HIGO 最先端研究セミナーA	1		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
	S-HIGO 最先端研究セミナーB	2		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
キャリアパス支援パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 5単位以上	S-HIGO インターンシップⅠ	1	○		船間 芳憲	○	
	S-HIGO プロジェクト	2	○		小川 峰太郎	○	
	S-HIGO リーダーシップトレーニング講座	1		○	森岡 弘志		
	S-HIGO 行政・企業セミナーA	1		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO 行政・企業セミナーB	2		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO インターンシップⅡ	1		○	船間 芳憲		

大学院医学教育部（博士課程）
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目　履修届
（HIGO プログラム専門コース）

令和　　年　　月　　日

熊本大学大学院医学教育部長　殿

令和＿＿年度入学　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（必須）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	
コース名	HIGO 専門コース		

履修希望及び読替希望について、希望する科目の欄に○を記入すること。

区分	授業科目名	単位数	必修･選択の別		担当教員	履修希望	読替希望
			必修	選択			
研究力向上パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて4単位以上	S-HIGO 特別実習	1	○		首藤 剛	○	
	大学院教養教育プログラム科目「研究の最前線と知の統合」	1		○	梅田 香穂子、Tobias Bauer、田代 浩徳、三隅 将吾、西中村 隆一、尼崎 大樹、倉田 賀世		
	S-HIGO 最先端研究セミナーA	1		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
	S-HIGO 最先端研究セミナーB	2		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
キャリアパス支援パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて5単位以上	S-HIGO インターンシップⅠ	1	○		船間 芳憲	○	
	S-HIGO プロジェクト	2	○		小川 峰太郎	○	
	S-HIGO リーダーシップトレーニング講座	1		○	森岡 弘志		
	S-HIGO 行政・企業セミナーA	1		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO 行政・企業セミナーB	2		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO インターンシップⅡ	1		○	船間 芳憲		

大学院薬学教育部（博士課程）
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目　履修届
（臨床薬学コース・医療薬科学コース）

令和　　年　　月　　日

熊本大学大学院薬学教育部長　殿

令和＿＿年度入学　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（必須）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	
コース名	コース		

履修を希望する科目の欄に○を記入すること。

区分	授業科目名	単位数	必修･選択の別		担当教員	履修希望
			必修	選択		
研究力向上パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 4単位以上	S-HIGO 特別実習	1	○		首藤 剛	○
	大学院教養教育プログラム科目「研究の最前線と知の統合」	1		○	梅田 香穂子、Tobias Bauer、田代 浩徳、三隅 将吾、西中村 隆一、尼崎 大樹、倉田 賀世	
	S-HIGO 最先端研究セミナーA	1		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史	
	S-HIGO 最先端研究セミナーB	2		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史	
キャリアパス支援パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 5単位以上	S-HIGO インターンシップⅠ	1	○		船間 芳憲	○
	S-HIGO プロジェクト	2	○		小川 峰太郎	○
	S-HIGO リーダーシップトレーニング講座	1		○	森岡 弘志	
	S-HIGO 行政・企業セミナーA	1		○	猿渡 淳二	
	S-HIGO 行政・企業セミナーB	2		○	猿渡 淳二	
	S-HIGO インターンシップⅡ	1		○	船間 芳憲	

大学院薬学教育部（博士後期課程）
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目　履修届

（ドラッグデリバリーコース・バイオファーマコース・メディシナルケミストリーコース・ライフサイエンスコース）

令和　　年　　月　　日

熊本大学大学院薬学教育部長　殿

令和＿＿年度入学　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（必須）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	
コース名	コース		

履修を希望する科目の欄に○を記入すること。

区分	授業科目名	単位数	必修･選択の別		担当教員	履修希望
			必修	選択		
研究力向上パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 4単位以上	S-HIGO 特別実習	1	○		首藤 剛	○
	大学院教養教育プログラム科目「研究の最前線と知の統合」	1		○	梅田 香穂子、Tobias Bauer、田代 浩徳、三隅 将吾、西中村 隆一、尼崎 大樹、倉田 賀世	
	S-HIGO 最先端研究セミナーA	1		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史	
	S-HIGO 最先端研究セミナーB	2		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史	
キャリアパス支援パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 5単位以上	S-HIGO インターンシップⅠ	1	○		船間 芳憲	○
	S-HIGO プロジェクト	2	○		小川 峰太郎	○
	S-HIGO リーダーシップトレーニング講座	1		○	森岡 弘志	
	S-HIGO 行政・企業セミナーA	1		○	猿渡 淳二	
	S-HIGO 行政・企業セミナーB	2		○	猿渡 淳二	
	S-HIGO インターンシップⅡ	1		○	船間 芳憲	

大学院薬学教育部（博士後期課程）
S-HIGO プロフェッショナルプログラム科目　履修届
（HIGO プログラム専門コース）

令和　　年　　月　　日

熊本大学大学院薬学教育部長　殿

令和＿＿年度入学　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（必須）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記の授業科目を履修したいので許可願います。

記

分野名		指導教員名	
コース名	HIGO 専門コース		

履修希望及び読替希望について、希望する科目の欄に○を記入すること。

区分	授業科目名	単位数	必修･選択の別		担当教員	履修希望	読替希望
			必修	選択			
研究力向上パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 4 単位以上	S-HIGO 特別実習	1	○		首藤 剛	○	
	大学院教養教育プログラム科目「研究の最前線と知の統合」	1		○	梅田 香穂子、Tobias Bauer、田代 浩徳、三隅 将吾、西中村 隆一、尼崎 大樹、倉田 賀世		
	S-HIGO 最先端研究セミナーA	1		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
	S-HIGO 最先端研究セミナーB	2		○	主：西中村 隆一 副：塩田 倫史		
キャリアパス支援パッケージ 【履修方法】 必修・選択合わせて 5 単位以上	S-HIGO インターンシップⅠ	1	○		船間 芳憲	○	
	S-HIGO プロジェクト	2	○		小川 峰太郎	○	
	S-HIGO リーダーシップトレーニング講座	1		○	森岡 弘志		
	S-HIGO 行政・企業セミナーA	1		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO 行政・企業セミナーB	2		○	猿渡 淳二		
	S-HIGO インターンシップⅡ	1		○	船間 芳憲		

2. 研究力向上パッケージ科目

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24720)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGO特別実習()	首藤 剛

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥30% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥10%

授業の形態	実習
授業の方法	実習項目毎に各担当分野で順次実習（１分野につき2日間）を行う。講義による原理の理解、実験操作の実施、結果のまとめと考察などを行い、レポートにまとめる。
授業の目的	健康生命科学は、医学・薬学・保健学領域における多様な学問が集結する学際的な研究領域であるため、そこで利用される実験方法・技術も多岐にわたる。それら様々な実験手法を学ぶことは健康生命科学の研究に従事するために必要であるだけでなく、専門外の学問分野であってもその知見を裏付ける技術的背景を理解することは、多角的な視点から問題解決に挑む上で重要な素養となる。S-HIGO特別実習では、健康生命科学に関連する様々な実験方法・技術の中で特に重要なものを取り上げ、その原理と実際の手技を学ぶ。 また、異分野への関心を高め、研究の幅やネットワークを広げることも目的とする。
学修目標	【A水準】 健康生命科学に関連する様々な実験方法・技術について、その原理と実際の手技を理解し、説明し、実施することができる。 【C水準】 健康生命科学に関連する様々な実験方法・技術について、その原理と実際の手技を理解している。
授業の概要	授業では、医学・保健学・薬学分野の受け入れ研究室において、様々な技術・手法に関して実習を行う。 以下にその一部を紹介する。 (例) 免疫学的解析 ES細胞遺伝子改変・発現誘導 筋組織再生評価 FACS 細胞内シグナル応答 小動物代謝測定法、動物用CT PCR法等による悪性腫瘍研究基礎 細胞系酸化ストレス 心血管病モデル インスリン測定 走査型電子顕微鏡 タイムラプス顕微鏡 組織染色法 RNA・DNAの定量 オペラント学習実験、オープンフィールド試験 2光子顕微鏡 リポフェクション、ウェスタンブロット 線虫による生物活性評価 ライソゾーム病治療候補物質評価 臨床データによる生物統計 シクロデキストリン超分子 有機分子触媒 磁気共鳴に基づく生命イメージング 質量分析によるタンパク質同定 光学活性化合物入手法 有機合成 生体分子間相互作用の物理化学的解析 組織からの脂質抽出、定量 タンパク質結晶化とX線結晶構造解析 微生物資源からの医薬品シーズ探索 無菌操作・抗がん剤の効果 有用植物生育地環境データによるGIS解析 薬物体内動態 遺伝子発現解析 ウエスタン解析 核酸-タンパク質結合解析 胎児超音波断層法検査 母子保健教育の効果分析 Native-PAGE 血清タンパク質検出

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		各担当分野の授業の日時と実習の内容については別途通知する。	各担当分野の授業の日時と実習の内容については別途通知する。

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分となるため、15時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特になし。
参考文献	特になし。（各担当者が指定する場合がある。）
履修条件	４項目以上の実習（医学系、保健学系、薬学系の分野から少なくとも１つずつ）に参加し、実習の内容、自分の研究との関連などについてレポートを提出する。実習中の討論の状況、レポートの内容に基づき、実習項目の理解度を評価する。 ＊なお、本実習について、さらに深く、実験原理・方法・技術を学びたい学生は、実習期間の延長等について、希望する研究室担当者と自主的に相談すること。
評価方法・基準	実習の内容、自分の研究との関連などについてレポートを提出する。実習中の討論の状況、レポートの内容に基づき、実習項目の理解度を評価する。

教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を 活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24730)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGO最先端研究セミナーA()	西中村　隆一、塩田　倫史

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥25% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥5%

授業の形態	講義
授業の方法	プログラムが認定する学内のセミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。１時間程度のセミナーをもって１回とみなす。
授業の目的	健康生命科学は多様な学問が集結する学際性の高い研究領域であるだけでなく、21世紀の医療を担う新しい研究領域として急速に発展している。 S-HIGO最先端研究セミナーは、健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、教育コースの講義で習得した知識を深化させ、さらに講義では扱えない幅広い学問分野における最新の知識習得を図る。
学修目標	【A水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得して応用できる。 【C水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得する。
授業の概要	セミナーでは、講義で扱う学問分野に加えて、医学・保健学・薬学の枠を越えた健康生命科学に関連する学問分野を広く取り扱う。 ※「HIGO最先端研究セミナー(リエゾンラボ研究会)」を受講対象セミナーとするが、「医学・生命科学セミナー」、「名医に学ぶセミナー」、「国際先端医学セミナー」についても受講対象セミナーとして認定する。

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		セミナーの詳細は以下のウェブサイトにて随時発表する。 https://higoprogram.jp/category/saisentan/	基本的に毎週水曜の12:00から発生医学研究所１階カンファランス室で開催するが、場所の変更があり得るため、詳細はウェブサイトを参照のこと。

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は8時間分（1h×8コマ）となるため、37時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	
評価方法・基準	プログラムが認定するセミナーを８回以上聴講し、少なくとも２回のレポート提出を義務づける。レポートに基づき、当該講演内容の理解度を評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24740)	1, 2, 3, 4	2	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGO最先端研究セミナーB()	西中村　隆一、塩田　倫史

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥25% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥5%

授業の形態	講義
授業の方法	プログラムが認定する学内のセミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。１時間程度のセミナーをもって１回とみなす。
授業の目的	健康生命科学は多様な学問が集結する学際性の高い研究領域であるだけでなく、21世紀の医療を担う新しい研究領域として急速に発展している。 S-HIGO最先端研究セミナーは、健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、教育コースの講義で習得した知識を深化させ、さらに講義では扱えない幅広い学問分野における最新の知識習得を図る。
学修目標	【A水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得して応用できる。 【C水準】 健康生命科学に関連する最先端の研究を展開する国内外の研究者のセミナーを聴講し、幅広い学問分野における最新の知識を習得する。
授業の概要	セミナーでは、講義で扱う学問分野に加えて、医学・保健学・薬学の枠を越えた健康生命科学に関連する学問分野を広く取り扱う。 ※「HIGO最先端研究セミナー(リエゾンラボ研究会)」を受講対象セミナーとするが、「医学・生命科学セミナー」、「名医に学ぶセミナー」、「国際先端医学セミナー」についても受講対象セミナーとして認定する。

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		セミナーの詳細は以下のウェブサイトにて随時発表する。 https://higoprogram.jp/category/saisentan/	基本的に毎週水曜の12:00から発生医学研究所１階カンファランス室で開催するが、場所の変更があり得るため、詳細はウェブサイトを参照のこと。

授業外学修時間の目安	本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は15時間分（1h×15回）となるため、75時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	
評価方法・基準	プログラムが認定するセミナーを15回以上聴講し、少なくとも4回のレポート提出を義務づける。レポートに基づき、当該講演内容の理解度を評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
KGG5-001-99-2	2021集中	教養教育（大学院）(15001)	1, 2, 3	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
研究の最前線と知の統合（2021年度）(いのち・Birthー新型コロナウィルス感染が広がる世界で、未来の健康・社会のあり方を考え、活力ある生活を営む人々の共生社会をつくるためにー)	梅田　香穂子、Tobias Bauer、田代　浩徳、三隅 将吾、西中村　隆一、尼崎　大樹、倉田 賀世

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ····15% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ····35% 3.グローバルな視野と行動力 ····20% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ····30%

授業の形態	講義・演習
授業の方法	講義にディスカッションなどの要素を加えた双方向の対話型授業とする。
授業の目的	大学院修了者には、「知のプロフェッショナル」として、今後の社会を先導し、指導的な立場に立つ人材となることが期待されている。知のプロフェッショナルが自らの意思で新たな価値を創造し、社会の様々な問題を解決していくには、専門力だけでなく、高水準の幅広い教養が必要となる。そこで、大学院教養教育では、これまでに培った専門的な基礎知識や自らの研究の視点を活かし、より高度な内容を多角的かつ深く学び、授業を通して得られる様々な分野の知識（形式知）を自らの「知」に変える力（知力）を修得させる専門的高度教養教育を提供する。その中で、自らの専攻の枠を超えた知識・視点を自分の中に取り込み、結びつけ、研究の発展や社会の課題解決に役立てるための「学際性」も涵養していく。
学修目標	【A水準】 (1) テーマについて、自らの定見を持ち、講師や他の受講者と議論することができる。 (2) 各授業で得た形式知を結びつけ、テーマに対する自らの定見などを発表することができる。 (3) 授業を通して、何を得たか、研究や将来にどう活かしたいかなどを論述することができる。 【C水準】 本科目は、秀・優・良・可・不可の判定ではなく、合格・不合格で判定されるため、 A水準に記載の目標を確認してください。
授業の概要	学問分野横断的な取組みが必要な「老い・Aging」というテーマを設定し、対話型の授業を実施する。テーマに沿った各分野の研究者が講師となり、研究内容や研究者としての視点を語り、学生はテーマに対する疑問や自分の考え・解釈を述べ、講師・学生間で討論する。最後に、授業全体を振り返り、全授業を通して得た自分の考え・解釈や今後の研究・将来にどう活かすか等について議論・発表する機会を設け、様々な分野の知識（形式知）を深化させ、自らの「知」に変える力（知力）の修得につなげる。

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		概論 【担当教員】大学教育統括管理運営機構　梅田　香穂子　特任講師	授業の目的、いのち・Birthというテーマを設定した意図や到達目標等についてのイントロダクションを行う。
2		いのち・Birthと向き合う:日本とドイツの赤ちゃんポストを比べてみよう 【担当教員】大学院人文社会科学研究部　Tobias Bauer　准教授	2007年から慈恵病院が運営している「こうのとりのゆりかご」は、熊本に住んで いる皆さんにとって身近な出来事だと思います。その存在は、肯定的に評価され るー方で、法的にも倫理的にも課題があるのも事実です。熊本の「こうのとりの ゆりかご」のモデルとなったドイツの赤ちゃんポスト。そのドイツの歴史と現状 を日本の状況と照らし合わせながら、「赤ちゃんポスト」を考えていく上で不可 欠な倫理学的な視点を紹介します。
3		いのち・Birthをつなぐ：女性の健康と子宮頸がん 【担当教員】大学院生命科学研究部　田代　浩徳　教授	子宮頸がんは性交渉でヒトパピローマウイルスの感染によって発生し、若年層に多くみられる。世界ではワクチンが開発され、接種が普及している国々では減少傾向にあるが、日本では普及せず未だ増加傾向にある。若くして頸がんになると、子宮を失い次世代のいのちを育むことができなくなる。将来のいのちをつなぐためにも20歳からの検診により早期発見することが重要である。本講義では頸がんについて深く掘り下げて勉強していく。
4		いのち・Birthを守る：感染症とワクチン 【担当教員】 大学院生命科学研究部　三隅 将吾　教授	わが国では健康増進法第二条において、生涯にわたる健康維持を国民の責務として定めている。 本授業では、「いのち・Birthを守る」という共通テーマのもと、現代社会における人々（集団）の健康と疾病の現状およびその影響要因（遺伝要因、生活要因、環境要因）を把握し、その予防・治療に関する基本的知識を深めるために、健康と疾病の概念、疾病の予防（疾病の予防の定義、感染症とその予防）について考える時間にしたい。
5		いのち・Birthを理解する：腎臓発生と再生医学 【担当教員】発生医学研究所　西中村　隆一　教授	立体的な組織を試験管内で作ることが可能になりつつある。本講義では、ヒトiPS細胞を用いた腎臓の発生・再生研究を中心に、臓器再建を目指した研究の最前線を紹介する。また、それに伴う生命倫理の問題についても議論したい。
6		いのち・Birthを見守る：AI技術を使った感染症監視システム 【担当教員】大学院先端科学研究部　尼崎　大樹　准教授	公共施設や店舗など不特性多数が往来するスペースを設置対象とし、クラスター発生を予測する監視システムについて説明する．本システムは，人工知能（AI）技術を用いることで、潜在的なCOVID-19感染状況をリアルタイムに数値化している。この他、我々の生活に使われる最新AI技術についても紹介を行う。
7		いのち・Birthを支える：児童虐待問題と法律・政策 【担当教員】大学院人文社会科学研究部　倉田 賀世 教授	日本の法制度において児童虐待とはどのように定義され、また、どのような保護や支援が行われているのだろうか。法制度の内容、および、課題、裁判例から見る実情を概観したうえで、実効的な支援を行うために必要な視点について、参加者と共に検討してみたい。
8		総括 【担当教員】大学教育統括管理運営機構　梅田　香穂子　特任講師	各授業で得た形式知を結びつけ、「いのち・Birth」というテーマに対する自分の考えを持ち、自分が何を得たか、研究や将来にどう活かしたいかなどを議論・発表する。

授業外学修時間の目安	・本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は16時間分（2h×8コマ）となるため、29時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。

テキスト	特に指定はしない。
参考文献	特に指定はしない。
履修条件	科目の目的・趣旨を十分に理解し、高い学修意欲を持って履修することが望ましい。
評価方法・基準	学修目標の達成状況及び全授業終了後に提出するレポートによって、合否で評価する。
使用言語	「日本語」による授業 (授業の一部を英語で行う場合がある。)
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト (テキストの一部に英語を使用する場合がある。)
実務経験を 活かした授業	非該当

3. キャリアパス支援パッケージ科目

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24760)	1, 2, 3, 4	2	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGOプロジェクト()	小川 峰太郎

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥45% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥30% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥10% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥15%

授業の形態	その他
授業の方法	年1回、発表会において、S-HIGOプロフェッショナルプログラム科目における学修成果及び研究成果を発表する。
授業の目的	S-HIGOフェローシッププログラムは、健康生命科学の高度な研究力と学際的マインド・実践力を兼ね備えた博士人材を育成することを目指し、学生が研究に専念できる環境の整備や、特徴的なパッケージ科目の開講などを行っている。 本科目では、プログラム生が自身の学修成果や研究成果を発表し、メンター教員や産業界メンター等から評価や指導・助言を受けることにより、さらなる研究力の向上や、学際的マインド・実践力を身につけることを目的とする。
学修目標	【A水準】 高度な研究力と学際的マインドを持ち、これを実践することができる。 【C水準】 一定水準以上の研究力と学際的マインドを持ち、これを実践することができる。
授業の概要	インターンシップ等、S-HIGOプロフェッショナルプログラム科目の学修成果や、自身の研究成果について、毎年度開催する発表会にて発表を行う。 S-HIGOプログラム担当教員、産業界メンターから、発表内容及びそのスキル、研究や学修への取り組み状況ついて指導・助言を受ける。

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		スケジュール等は別途通知する。	スケジュール等は別途通知する。

授業外学修時間の目安	本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業（発表）は１日であるが、自らの研究成果とS-HIGOプロフェッショナルプログラムの各科目の学修成果を包括して理解を深め、これを効果的に発表するために、相当時間数の時間外学習を必要とする。
テキスト	特に指定はしない。
参考文献	特に指定はしない。
履修条件	
評価方法・基準	発表に対して、研究力、学際的マインド、実践的能力等の修得度を評価する。
使用言語	「英語」による授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24750)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGOインターンシップⅠ()	船間 芳憲

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥35% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥30%

授業の形態	その他
授業の方法	行政機関や産官学連携している大学、企業等での体験型実習。 臨地体験終了後、発表・討論等を行い、学習内容の理解を深める。
授業の目的	S-HIGOプロフェッショナルプログラムは、研究力に加え、学際的マインドや実践力などを兼ね備え、高齢化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの複雑な社会問題を健康生命科学の観点から俯瞰し、科学的エビデンスに基づく技術・政策・医療などを創出することのできるプロフェッショナル人材を養成することを目的とする。しかし、その資質を涵養するためには、医学、保健学、薬学、生命科学等の学問領域のみならず、福祉や公衆衛生、多文化共生などのほか、企業経営、コンプライアンス、社会貢献などの企業的知識を修得することが必要である。S-HIGOインターンシップⅠでは、行政機関、企業等における地域的・国際的な臨地体験に基づき、それらの生きた情報に触れることにより、課題設定・課題解決・実践力を獲得するとともに、さらなる学習・研究意欲の向上や、職業観・使命感の育成を図る。
学修目標	【A水準】 社会課題解決・社会貢献の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、多文化共生等の知識のほか、企業経営、コンプライアンス、地域・国際社会貢献などについての知識を修得し、実践的な能力を獲得する。 【C水準】 社会課題解決・社会貢献の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、多文化共生等の知識のほか、企業経営、コンプライアンス、地域・国際社会貢献などについての知識を修得する。
授業の概要	行政機関や産官学連携している大学、企業等の協力の下に、健康生命科学や地方創生、外国人労働者、防災、対感染症政策、医薬品研究・開発など幅広い社会課題解決の現場を体験し学修する。 なお、日本語による実習を基本とするが、英語により実施される実習も計画される。場合により、日本語の実習において英語通訳等の措置を行うこともある。 実習を担当いただく官公庁・企業・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。

各回の授業内容			
回	月日	授業テーマ	内容概略
1		Moodle等に掲載	Moodle等に掲載

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分となるため、15時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	指導教員およびHIGOプログラムでの承認が必要
評価方法・基準	臨地体験、発表・討論の積極的な態度およびe-portfolioのレポート記載内容に基づき、当該インターンシップによる実践的能力の修得度を評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24800)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGOインターンシップⅡ()	船間 芳憲

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥35% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥15% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥30%

授業の形態	その他
授業の方法	行政機関や産官学連携している大学、企業等での体験型実習。 臨地体験終了後、発表・討論等を行い、学習内容の理解を深める。
授業の目的	S-HIGOプロフェッショナルプログラムは、研究力に加え、学際的マインドや実践力などを兼ね備え、高齢化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの複雑な社会問題を健康生命科学の観点から俯瞰し、科学的エビデンスに基づく技術・政策・医療などを創出することのできるプロフェッショナル人材を養成することを目的とする。しかし、その資質を涵養するためには、医学、保健学、薬学、生命科学等の学問領域のみならず、福祉や公衆衛生、多文化共生などのほか、企業経営、コンプライアンス、社会貢献などの企業的知識を修得することが必要である。S-HIGOインターンシップⅠでは、行政機関、企業等における地域的・国際的な臨地体験に基づき、それらの生きた情報に触れることにより、課題設定・課題解決・実践力を獲得するとともに、さらなる学習・研究意欲の向上や、職業観・使命感の育成を図る。
学修目標	【A水準】 社会課題解決・社会貢献の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、多文化共生等の知識のほか、企業経営、コンプライアンス、地域・国際社会貢献などについての知識を修得し、実践的な能力を獲得する。 【C水準】 社会課題解決・社会貢献の現場を臨地経験することにより、福祉、公衆衛生、多文化共生等の知識のほか、企業経営、コンプライアンス、地域・国際社会貢献などについての知識を修得する。
授業の概要	行政機関や産官学連携している大学、企業等の協力の下に、健康生命科学や地方創生、外国人労働者、防災、対感染症政策、医薬品研究・開発など幅広い社会課題解決の現場を体験し学修する。 なお、日本語による実習を基本とするが、英語により実施される実習も計画される。場合により、日本語の実習において英語通訳等の措置を行うこともある。 実習を担当いただく官公庁・企業・団体が追加・変更された場合、複数の企業が連携して実施される場合などの変更があった場合には、メール等で連絡しますので、随時、確認するようにして下さい。

各回の授業内容			
回	月日	授業テーマ	内容概略
1		Moodle等に掲載	Moodle等に掲載

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分となるため、15時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定はせず、インターンシップの概要に関するプリントを配布する。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	指導教員およびHIGOプログラムでの承認が必要
評価方法・基準	臨地体験、発表・討論の積極的な態度およびe-portfolioのレポート記載内容に基づき、当該インターンシップによる実践的能力の修得度を評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24770)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGOリーダーシップトレーニング講座()	森岡 弘志

学修成果とその割合
2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥20% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥40% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥40%

授業の形態	演習
授業の方法	演習、スモールグループ討論
授業の目的	S-HIGOフェローシッププログラムは、健康生命科学の高度な研究力と学際的マインド・実践力を兼ね備えた博士人材を育成することを目指している。その中で、課題発見・解決能力、コミュニケーション力、企画立案・実践力、リーダーシップなどのコンピテンシーを養うことが必要である。そこで本科目では、ビジネスや社会活動におけるセルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを学び、実践的スキルを身につけることを目的とする。
学修目標	【A水準】 セルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを理論、ケーススタディなどを通して学ぶ。また、自分自身のリーダーシップ開発プランを作成、発表を行い、今後の行動につなげる。 【C水準】 セルフ・リーダーシップ、チーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップを理論、ケーススタディなどを通して学ぶ。
授業の概要	MBA（ビジネススクール）などで学ぶリーダーシップ論（研究）の流れとリーダーシップの全体像を理解するカードゲーム、ケーススタディ、ロールプレイ演習などを通じてリーダーシップ実践の方法を学ぶ。

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		3-Days MBAプログラム（リーダーシップ編） ３日間の演習プログラム	3-Days MBAプログラム（リーダーシップ編） ３日間の演習プログラム

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は21時間分（7h × 3日）となるため、24時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	World Class Leadership （World Scientific)、ワールドクラス・リーダーシップ（同友館）
参考文献	
履修条件	事前課題図書 World Class Leadership （ワールドクラス・リーダーシップ）を読んでおくことが望ましい。
評価方法・基準	３日間のリーダーシッププログラムへの受講状況（50%）とe-portfolioを利用したレポート（50%）で評価する。
使用言語	「英語」による授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を 活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24780)	1, 2, 3, 4	1	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGO行政・企業セミナーA()	猿渡 淳二

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥25% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥25% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥30%

授業の形態	講義
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Power point, OHP等を活用する。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。
授業の目的	S-HIGOフェローシッププログラムは、健康生命科学の高度な研究力と学際的マインド・実践力を兼ね備えた博士人材を育成し、独特かつ多様なキャリアパスを実現することを目指している。また、健康生命科学分野においては、本質を 俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって地域や日本・国際社会（グローカル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず幅広い知識を修得する必要がある。行政セミナーでは上記のグローカルな視座から、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題について、その現状、将来の展望などに関するセミナーを聴講し、通常の教育コースの講義では取り扱うことのない最新知識を修得する。また、企業セミナーでは企業からの視点を獲得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を涵養することを目的に、国内外の様々な企業の経営者・研究者・開発者等を講師として招聘し、健康生命科学の社会への還元のあり方等について学ぶ。
学修目標	【A水準】 医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、応用できることに加え、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を獲得し、実践できる。 【C水準】 医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を獲得する。
授業の概要	【行政セミナー】 熊本県庁、熊本市役所、中央官庁などの行政機関から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、医薬政策、福祉、環境、公衆衛生、健康危機管理、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理などに関連する様々な分野の 内容を広く取り扱う。 【企業セミナー】 企業等から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、企業理念、企業コンプライアンス、社会・地域貢献、地域経済、人材育成、国際化、環境、循環社会、経営、広報などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。 --- なお、日本人が講師の場合、日本語による講演を基本とするが、その場合は英語通訳等の措置を行う。 セミナーはそれぞれ年間８回開催するため、通算して少なくとも8回受講すること。 また、講演をいただく官公庁・企業・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載するので、随時、参照すること。 (行政セミナー)https://higoprogram.jp/category/gyousei/ (企業セミナー) https://higoprogram.jp/category/kigyou/

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		HIGOプログラムのホームページに掲載	HIGOプログラムのホームページに掲載

授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は16時間分（2h×8コマ）となるため、29時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。
評価方法・基準	少なくとも８回以上のセミナーに出席し、２回以上のレポート提出を義務づける。セミナーの内容に関するレポートにより評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を活かした授業	非該当

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
	2021通年	医学教育部(24790)	1, 2, 3, 4	2	他

科目名(講義題目)	担当教員
S-HIGO行政・企業セミナーB()	猿渡 淳二

学修成果とその割合
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ‥‥20% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ‥‥25% 3.グローバルな視野と行動力 ‥‥25% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ‥‥30%

授業の形態	講義
授業の方法	質疑応答を重視したセミナー形式で、Power point, OHP等を活用する。セミナーを聴講し、講演内容とそれに対する考察を記したレポートを作成する。日本人講師の場合、原則、日本語による講義・テキスト、外国人講師の場合、英語による講義・テキストで行う。
授業の目的	S-HIGOフェローシッププログラムは、健康生命科学の高度な研究力と学際的マインド・実践力を兼ね備えた博士人材を育成し、独特かつ多様なキャリアパスを実現することを目指している。また、健康生命科学分野においては、本質を 俯瞰できる専門的知識と国際的視野をもって地域や日本・国際社会（グローカル社会）が抱える人類的課題を解決できる、世界と日本・地域を結ぶ産学官を牽引できるリーダーが必要とされている。その資質を涵養するためには、医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず幅広い知識を修得する必要がある。行政セミナーでは上記のグローカルな視座から、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題について、その現状、将来の展望などに関するセミナーを聴講し、通常の教育コースの講義では取り扱うことのない最新知識を修得する。また、企業セミナーでは企業からの視点を獲得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を涵養することを目的に、国内外の様々な企業の経営者・研究者・開発者等を講師として招聘し、健康生命科学の社会への還元のあり方等について学ぶ。
学修目標	【A水準】 医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、応用できることに加え、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を獲得し、実践できる。 【C水準】 医学、保健学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等、個人の生活から地球規模にいたる健康生命科学上の課題についての幅広い知識を修得し、地域社会のニーズを強く意識して社会に対する責任を自覚し、敏感に対応できる資質を獲得する。
授業の概要	【行政セミナー】 熊本県庁、熊本市役所、中央官庁などの行政機関から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、医薬政策、福祉、環境、公衆衛生、健康危機管理、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理などに関連する様々な分野の 内容を広く取り扱う。 【企業セミナー】 企業等から講師を招き、医学および薬学で扱う学問分野に加えて、企業理念、企業コンプライアンス、社会・地域貢献、地域経済、人材育成、国際化、環境、循環社会、経営、広報などに関連する様々な分野の内容を広く取り扱う。 --- なお、日本人が講師の場合、日本語による講演を基本とするが、その場合は英語通訳等の措置を行う。 セミナーはそれぞれ年間８回開催するため、通算して少なくとも15回受講すること。 また、講演をいただく官公庁・企業・団体が追加・変更された場合には、HIGOプログラムホームページに掲載するので、随時、参照すること。 (行政セミナー)https://higoprogram.jp/category/gyousei/ (企業セミナー) https://higoprogram.jp/category/kigyou/

各回の授業内容

回	月日	授業テーマ	内容概略
1		HIGOプログラムのホームページに掲載	HIGOプログラムのホームページに掲載

授業外学修時間の目安	本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分（2h×15コマ）となるため、60時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。
テキスト	特に指定はせず、セミナーのポイントをまとめたプリントを配布する。
参考文献	特に指定しない。
履修条件	特別な理由が無い限りセミナーに参加すること。特別な理由によりセミナーを欠席する場合、欠席理由書を提出すること。その場合、Moodleでの受講を認める。
評価方法・基準	少なくとも１５回以上のセミナーに出席し、４回以上のレポート提出を義務づける。セミナーの内容に関するレポートにより評価する。
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を 活かした授業	非該当